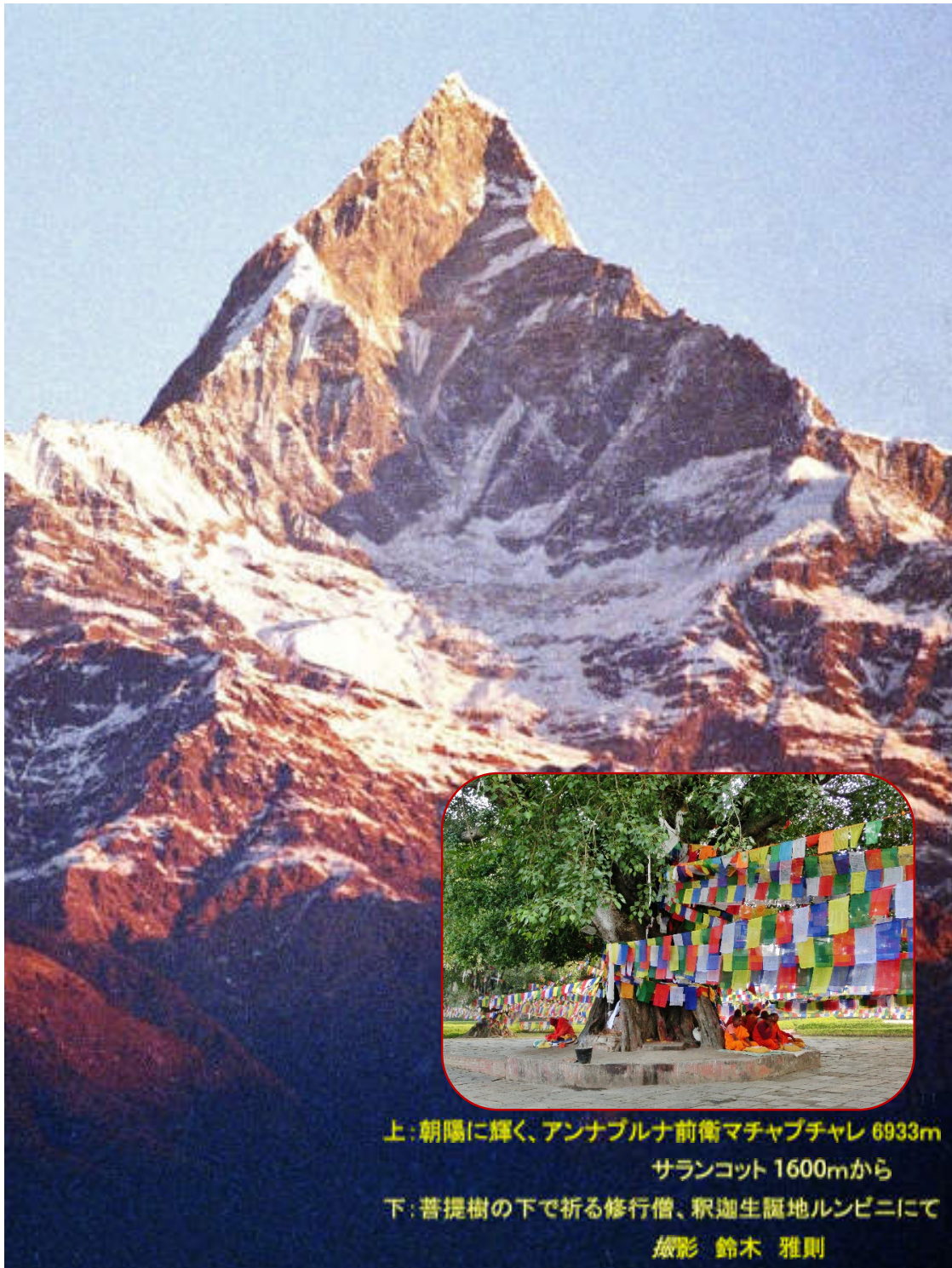


2023-5 MHC 会報



上: 朝陽に輝く、アンナプルナ前衛マチャブチャレ 6933m
サランコット 1600mから
下: 菩提樹の下で祈る修行僧、釈迦生誕地ルンビニにて
撮影 鈴木 雅則

NPO 法人 松本ヒマラヤ友好会

MATSUMOTO HIMALAYA FRIENDSHIP CLUB (略称MHC)

事務所・本部 〒390-0852 松本市大字島立 4539 番地 7



TEL: 0263-47-6197 FAX: 0263-47-5685

E-mail : mhc@lily.ocn.ne.jp <http://www1.ocn.ne.jp/~mhfc/>



2023-5MHC会報



拝 啓

花々咲く陽光の中、穏やかな暮らしを、切に願う今日この頃、皆様には益々ご健勝にてご活躍の事と存じます。

さて、去る5月13日(土)PM1:30より松本市島立MHC記念館において、NPO法人松本ヒマラヤ友好会第24回通常総会を開催。

初めに鈴木理事長のご挨拶があり、司会役の鈴木敬子MHC事務局長から、臥雲松本市長、及び松本市前副市長坪田様より祝辞が寄せられていることが紹介、また寄せられた祝辞の中から、カトマンズからのMHCネパール支部副会長パサングワ氏の祝辞と交流の成果が読み上げられました。他に八十二銀行笹賀支店松原支店長からの祝辞が寄せられたことが、出席者に伝えられ、開催の運びとなりました。

議長に荒井初彦氏、議事録署名人に折野和富氏、鈴木敬子氏を選出。会員総数200名のうち、正会員12名、そしてこの度、総会正会員出席者12名(書面表決者6名含む)を数え、定款第27条に定める1/2以上の出席の定足数を得て、総会成立する旨を確認し、総会の議事に入りました。

鈴木理事長より令和4年度の事業報告、収支決算報告がされ、上條賢介監事より会計監査報告が行われ、出席者全員の拍手で承認されました。引き続き令和5年度事業計画、収支予算計画が鈴木理事長より説明、これについても出席者全員の拍手で承認されました。

又、新役員について、理事長より説明、定款13条に基づき、事前の理事会で、5人の理事を選出、鈴木雅則、内山康翁、鈴木敬子、折野和富、荒井初彦とする旨報告。このことで審議をはかり、出席者満場一致で可決承認される。理事会において、理事長は鈴木雅則氏、副理事長として折野和富氏、鈴木敬子氏が互選された旨報告され、総会において審議、満場一致で承認されました。また監事は引き続き、上條賢介氏が選出され、これも総会において満場の拍手で承認されました。

その他の審議事項、MHC山岳保険については、三井住友海上火災保険代理店の佐藤保険事務所より配布の資料を使い、1泊2日、3泊4日タイプ、年間団体保険(別紙参照)について説明されました。またMHCの私達の小さな活動の積み重ねが、大きな国際協力事業へと発展していく事についての説明がされ、これらについても会員の理解を求め、協力をお願いしていく事で、出席者全員の拍手で承認されました。総会はPM3:15議長を解任し、閉会と致しました。

今年度も皆様のご理解、ご協力を今まで以上をお願いする次第です。総会資料は、会員全員にこの会報と同封してお送りいたします。ご確認ください。



MHC事業活動記念館外観



記念館玄関に咲く石楠花



第24回MHC総会 信毎新聞から

総会は、コロナ禍でもあり、会員皆様のこれからの健康を祈り、皆元気に事業に参加できて、顔を合わせられるように、祈りながらPM3:30散会としました。ご苦勞様でした。



豊穡の女神と称えられるアンナプルナ山群
アンナプルナサウス左 7219m アンアプルナ I 右奥 8091m サランコットから



サランコットの住民、

●これからの各事業について

1、文化交流事業

- ①上高地バスターミナル 2F の食堂への物産品、4/15 に納品し、11/15 まで展示販売予定
- ②上高地アルペンホテルへ物産品、4/26 納品、11/15 まで展示販売予定。
- ③徳沢ロッジは同様に、物産品を 5/中旬納品予定、10/30 頃まで展示販売予定。
- ④ 4/15～上高地バスターミナル 2F 会議室特設会場の写真展「上高地の美しい自然」「北アルプスの美しい自然」は 4/11 に 10 枚が差し替えられ総展示数 70 点となり引続き開催している。



2F 市営上高地バスターミナル 2F 写真展特設会場 姉妹都市カトマンズ・グリーンデルワルトも紹介

※是非ご来場下さい。パネル写真 A1 版、A2 版、及び A3 版の売上は、国際協力基金に積み立てられ、MHC 奨学金支給及びヒラリースクール・クムジュン校学生寮運営資金に使われます。

※また、この写真展を小冊子にし、現在、県立図書館で資料保管されている「上高地の美しい自然と槍穂高連峰&グリーンデルワルト・カトマンズ編(各冊 700 円)も同会場で好評販売中。

④ネパール講座—会員向け

—カトマンズ・アンナプルナ山群展望ハイク・ルンビニ訪問編—

鈴木理事長が、スクリーン映像を使い、解説します。・・・会場 MHC 記念館

第1部 ネパール訪問と観光について、ネパール・カトマンズの歴史、世界的な文化遺産と釈迦生誕地ルンビニの解説

第2部 アンナプルナ山群展望ハイク・サランコットへ・登山の注意と心得



ルンビニ訪問

⑤MHC 松本カトマンズ姉妹提携 35 周年記念事業として、

ロ、「第 6 回ネパール文化紀行&カトマンズ訪問」日程・・・2024.1/初め、

カトマンズでは市長表敬訪問し、挨拶の後、空路ネパール第二の都市ポカラを訪ね、車でサランコット 1600m まで登り、稜線のロッジに宿泊し、豊穡の女神と称えられる 8000m 峰アンナプルナ山群の朝夕を間近に望みます。また仏教を唱えた釈迦生誕地ルンビニにも訪ねます。(詳細スケジュールなどは後日送付) この時の参加者の撮影写真は、下記写真展で展示します。



カトマンズ盆地から北方に連なるヒマラヤ山群 表敬訪問 カ市旧王宮 アンナプルナⅡ峰 7937m

サランコットから

松本ヒマラヤ友好会山岳写真展—カトマンズ・アンナプルナ山群展望・ルンビニ編—

イ、会場・・・井上デパート 7F 大ホール 日程・・・2024 年 1.下旬～2.上旬 (予約済)

姉妹都市カトマンズの交流について、上記参加者の作品を展示、優秀作品には松本市長賞 (予定) など、各賞で表彰し、優れた写真を通じて、市民の皆様にも岳都交流に関心を持ってもらう。



宮殿建物内のチョーク（中庭）とダラン（空間）の彫刻された柱



2000年の歴史をもつ、カトマンズの世界文化遺産スワヤンブナート（仏塔）、

2、山岳スポーツ振興事業・・・従来より、縮小して開催

「MHC 登山講習」ハイキング編を開催。

○6/10(土)～6/11(日)登山講習ハイキング編「**初夏の上高地と乗鞍高原**」

○ 詳細は、別紙パンフレット参照。

10/21(土)～10/22(日)登山講習ハイキング編「**紅葉の上高地散策**」

1、登山の注意と心得について・・・登山講習中に指導

山の装備の選び方から山の登り方、行動食や水分の摂り方、高山病等を学ぶ**初歩的な医学、初歩的な栄養学知識**を習得してもらう。⇒安全登山に役立つように

2、山岳写真撮影会を実施

参加者は、山岳写真撮影会にも参加できます、公募作品として写真展への出展をお待ちしています。講評後パネル写真にして、**松本ヒマラヤ友好会山岳写真展**に展示発表します。

3、2024.1 初めに計画する、アンナプルナ展望ハイクに参加する会員は、ヒマラヤの大自然、**人々の暮らしと文化**に触れてもらう。そのための体力調整に、軽登山を行い、登山のための**注意と心得**を登山講習ハイクに参加して学ぶ。

○「**第6回ネパール文化紀行&カトマンズ訪問**」参加希望を、考えている人は、**初夏と秋の上高地散策**に参加して、体力づくり、チームワークづくりをしてください。

受講者は登山知識技術を習得することで、あらためて**安全登山についての認識**を深めて頂き、山岳に対する豊富な知識と経験を積んだ**愛好家として、また登山パーティーのリーダーとし**養成されていく事でしょう。

3、国際協力事業

①クムジュン校学生寮運営費の一部等、奨学生第27期生9名と28期生6名(大学入学後発表)計15名の奨学金と事務局運営費を支給していきます。詳細は、第24回総会資料を参照。

②国際協力事業基金の積立

寄付金、講演料、文化事業、物産展示販売の収益そしてMHC登山講習の参加費の一部が国際協力事業基金に積立てられます。**私達の小さな活動がネパールの青少年の教育**の為に役立っています。

・・・皆様のご理解とご協力、そしてご参加をお願い致します。

③MHC ネパール支部は、

(Matsumoto Himalayan Friendship Club Nepal Chapter)

という名称でネパール政府に登録され、ボランティア活動を主に行っています。既に、カトマンズ市西側に流れる、ビシュヌマティ川(遺体を茶毘後骨灰を流す川でガンジス川の源流部をなす)河川敷清掃を進め、カトマンズ市の浄化活動を進めています。

被災したカトマンズ盆地を中心に、被災した青少年の為に、**教育支援**を進め、



初夏の上高地



梓川の流れと焼岳



乗鞍高原とツツジ



2022.12MHC 奨学生激励



カ市と協働する河川清掃活動

小中高等学校学生への通学用ザック、帳面等支給、親を亡くした学生らへの奨学金支給等も行っています。

MHC ネパール支部には、現在 176 名の会員がいて、資金を出し合い、コロナ禍では一般の人々にもマスク、手袋の配布をしています。

4、事務局から

- ①5/12（金）監事上條賢介氏による 2022 年度会計監査が行われる。
- ②5/13(土) PM1：30～3：30MHC 記念館で MHC 第 24 回通常総会を開催。



学校へ教育文具提供

④MHC 山岳保険について・・・別紙参照

- 1、登山講習 1 泊 2 日 800 円/一人、3 泊 4 日 1,800 円/一人は、各登山講習会参加毎に加入。参加費の中に含まれます。入院通院費、救援者費、賠償責任費、死亡後遺障害費、携行品霜害賠償などが設定されています。契約内容をご確認ください。
- 2、しかし年間契約がお勧めです。団体契約扱いで入院通院費も支払われ、個人賠償責任保険金額は 2 億円となり、保険金額は年一人 18,000 円となります。工作中的の傷害のほか、任意で行くハイキングや登山など全て保険対象となります。・加入希望者は 6/15 までに事務局へ連絡下さい。70 歳以上も加入可です。大変お得です。ハイキングや思い付き登山なども適用されます。

※安全のため団体保険加入を勧めます。

⑤年会費納入について・・・会費納入書を同封いたしました。お願いいたします。

恐縮ですが、遅くても、6 月末までに令和 3 年度年会費 と 国際協力基金を加えていただき、郵便局よりお振込頂くようお願い致します。八十二銀行笹賀支店より、国際協力事業資金として、100 万円が振り込まれてきました。ネパールへの国際協力資金は、八十二銀行経由で送付します。

なお、早速にお振込みしていただいた会員の方々には、お礼申し上げます。

●皆様のご理解と、ご厚意に応えられるように、誠心誠意頑張ってまいります。



MHC 学生寮左奥とヒラリ卿胸像を背景に校長先生・生徒らと記念撮影。

敬 具

令和 5 年 5 月 16 日

MHC 会員各位

NPO 法人 松本ヒマラヤ友好会事務局



アンナプルナ山麓から、マチャプチャレ 6933mを望む

撮影 鈴木 雅則